

令和2年度第7回理事会議事録

一般社団法人
静岡県建設コンサルタンツ協会

1. 開催日時 令和3年3月19日(金) 10時15分開会 11時45分閉会

2. 開催場所 協会会議室

3. 理事会開会

(1) 出席した役員等の氏名

理事 森崎祐治 芹澤秀樹 服部剛明 藤山義修 齋 秀之
浅岡論志 小田秀昭 蓮池康彦 牧田敏明
監事 杉山 博 小田稔彦
事務局長 石原敏男

(2) 理事会成立の報告

事務局から、理事9名のうち9名(全員)が出席しており、定款第36条に基づき理事会は成立するとの報告がなされた。

(3) 議事録署名人の選任

事務局から、議事録署名人は定款第37条の規定に基づき出席した会長及び監事となる旨を説明するとともに、議事録作成後の記名押印を依頼した。

(4) 会長挨拶

議事に先立ち、森崎会長から挨拶があった。

(5) 議長選出

定款第35条の規定に基づき森崎会長が議長に就任した。

4. 議 事

(1) 令和2年度事業報告(案)について

(2) 令和2年度収支決算見込みについて

事務局から上記の2件について一括説明が行われた。

令和2年度の事業報告(案)に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して、例年実施している技術研究発表会や賀詞交歓会など多くの事業が中止となったこと。定時社員総会を「決議省略方式」により実施したこと。各部会主催の研修会を現地視察方式から座学方式に変更するとともに、協会初となるオンライン方式での研修が行われたことなどの説明があった。

令和2年度の収支決算見込みに関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した事業の中止や縮小などの影響を受けて、年度当初に計画した予算の執行率が前年度の93.0%を11.5%下回る81.5%となることから執行残額が増加し、収支決算では次年度への繰越額が346万円余程度見込まれるとの説明であった。

事務局からの説明の後、理事会で審議の結果、原案どおり承認されたが、「創立周年記念業等に係る積立金の使途、時期等については、今後、明確にしておいた方がよい」との意見があった。

(3) 令和3年度事業計画（案）について

(4) 令和3年度収支予算（案）について

事務局から上記の2件について一括説明が行われた。

令和3年度の事業計画（案）に関しては、協会の事業を「法人の管理運営」、「委員会等の事業」、「行政機関等への協力」の3本に体系化し、それぞれの事業について、年度内に予定される事業の概要を明記したとの説明があった。

令和3年度の収支予算（案）に関しては、前回の理事会で検討事項となっていた広報冊子（CONPA水版）について、企画内容を精査するとともに概算見積を徴した結果、令和2年度からの繰越額の増加によって、年度当初に見込まれる余剰金（176万円程度）の範囲内で作成が可能なことから、当初予算案に計上したとの説明があった。

また、令和2年度末で事務局を退職する職員の退職金（240万円）についても、当初予算案に計上したとの説明があった。

事務局からの説明の後、理事会で審議の結果、原案どおり承認されたが、計画された事業については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら弾力的に対応していくこととされた。

なお、広報冊子の作成については、「広報の目的、対象者、活用策等を十分に検討して行うこと」、「令和4年度以降の将来的な方向性を技術研究部会において検討していくこと」との意見があった。

また、事務局職員の退職金の支給時期については、「退職時期と同年度が望ましい」との意見があったが、事務局からは、令和2年度収支予算に計上されていないため、令和3年度収支予算に計上して対応するとの説明があった。

このほか、大規模事業である技術研究発表会については、「新型コロナウイルス感染拡大防止への十分な配慮やポスター展開の有無」、災害支援事業については、「大規模災害発生時における行政機関との連携の在り方（災害協定の一元化等）」に関する意見があり、今後、継続して検討を進めていくこととされた。

(5) 令和3年度当初の予定について

令和2年度事業報告、監査及び令和3年度第1回理事会については、令和3年4月9日に開催することとされた。

また、定時社員総会については、令和2年度は一般法人法に基づく「決議省略の方法」により実施したが、令和3年度については、新型コロナウイルス感染防止対策に十分配慮の上、会員の出席を前提として4月16日に開催することとされた。

(6) 令和3年度技術研究発表会について

令和3年8月6日に開催を予定している第16回技術研究発表会について、協会会員からの技術発表者、県及び浜松市からの特別発表者、学識経験者による講演者が決定したとの報告があった。

なお、協会会員からの技術発表者については、今後も、論文募集や発表依頼（割当）などの方法により、なるべく多くの会員企業の社員に発表の機会が与えられるよう配慮していくことを確認した。

(7) (一社) 静岡県建設産業団体連合会会長表彰候補者の推薦について

(一社) 静岡県建設産業団体連合会が、団体の役員等、団体、従業員等を対象に毎年度実施している会長表彰について、令和3年度の表彰候補者として、令和元年度末をもって当協会の役員を退任した、吉田英司氏、鶴田忠男氏を推薦することとされた。

(8) 狩野川流域治水協議会への参加について

国土交通省沼津河川国道事務所が所管する「狩野川流域治水協議会」について、沼津河川国道事務所から当協会に対してオブザーバーとしての参加依頼があり、令和3年3月25日に開催される令和2年度第2回協議会に森崎会長が出席するとの報告があった。

(9) 報告事項

ア 国土交通省県内事務所との意見交換会について（議事録）

令和2年11月9日に開催された、国土交通省県内事務所と県内建設関連業3団体（当協会、県測量設計業協会、県地質調査業協会）との意見交換会の議事録が作成されたとの報告があった。

イ 独占禁止法遵守及び総合評価落札方式研修会について

当協会、県測量設計業協会、県地質調査業協会、日本補償コンサルタント協会中部支部静岡県部会の4者の共催による、「独占禁止法遵守及び総合評価落札方式研修会」が令和3年2月5日に開催され、全体で43名の出席者があったこと。また、当協会の開催経費負担金として3万2千円を支出したとの報告があった。

ウ その他

静岡理工科大学では令和4年4月からの「土木工学科」開設に際して、学科紹介パンフレット作成業務を広告会社に委託しており、当該業務受託会社から当協会に対して「建設コンサルタント業」の業務紹介に係る取材依頼があったため、不二総合コンサルタント（株）が対応することとなったとの報告があった。

議長は、議事運営に対する各理事、監事の協力に謝辞を述べ、第7回理事会を11時45分に閉会した。

以上の議事の経過及び結果を明らかにするため、議事録を作成し、定款第37条に基づき、議長及び出席した監事が記名押印する。

令和3年3月19日

議長・代表理事 森崎祐治 ⑩

監事 杉山博 ⑩

監事 小田稔彦 ⑩